

PROFESSIONAL AUDIO MIXER **Prime** SERIES



規格及び仕様は改良の際予告なく変更する場合があります。

In line with our policy of continuous product improvement, we reserve the right to amend the design and specification of equipment without notice.

東京光音電波株式会社

本社工場・営業

〒213-8513 神奈川県川崎市高津区二子6-12-5

TEL : 044(813)8751~4 (営業部直通)

FAX : 044(822)0777

光音機器販売株式会社

〒213-8513 神奈川県川崎市高津区二子6-12-5

TEL : 044(813)8764代

TOKYO KO-ON DENPA CO., LTD.

HEAD OFFICE

6-12-5 FUTAGO, TAKATSU-KU

KAWASAKI KANAGAWA 213-8513, JAPAN

TEL:044(813)8754

FAX:044-822-0777



TOKYO KO-ON DENPA CO., LTD.

21世紀も真の音をつくる！

概要

Prime 12は30mmモジュールで構成された、軽量コンパクトなポータブルミキサーです。

入力モジュールはモノマイク、ステレオラインの2種が用意され組み合わせは自由です（ご発注時指定）。

2ステレオグループ、ステレオマスター、L+R出力及び3系統のAUX出力、PFL出力を備えています。

特に本機は放送局向けとして、軽量かつコストダウンを目標に開発いたしました。

特長

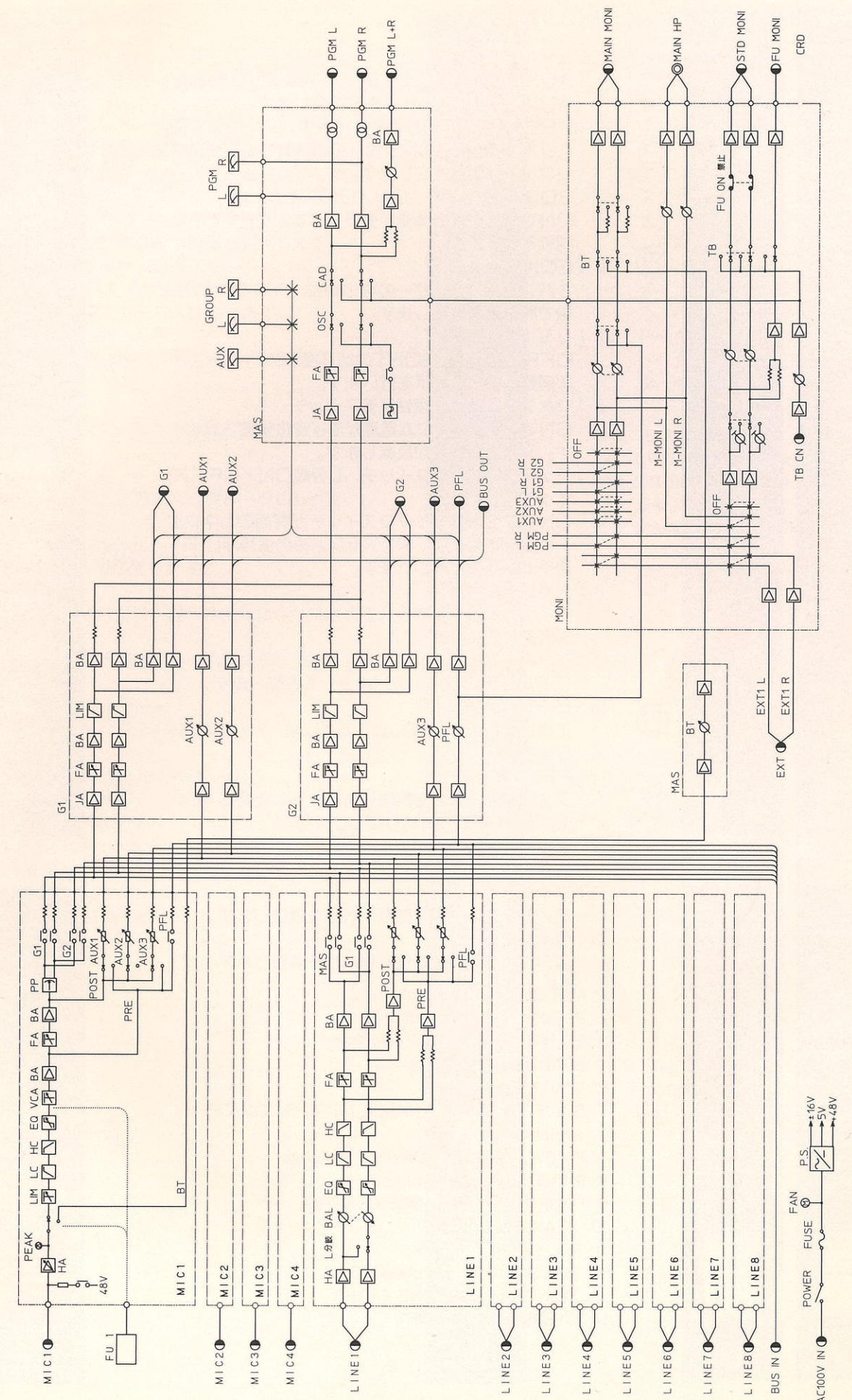
1. モノ、ステレオの入力モジュールが選択出来ます。
2. ハイブリッドIC化され保守点検が容易です。
3. 二つのステレオグループ出力を備えています。
4. マイク入力にはリミッター回路を備えており、グループにはステレオリミッターコンプレッサーを備えています。
5. 自社製の高品質フェーダーを使用し目盛りは彫刻です。
6. 自社製の小形アッテネータにより幅広い入力に対応します。
7. BUSIN, OUTのコネクターを使用して、当社製の従来MIXERとカスケード接続が可能です。
8. オプションでカフボックスにも対応しますので小規模なスタジオ業務にもご利用頂けます。



FEATURES

- Selected parts and excellent circuits
- Many hybrid ICs
- All faders of conductive plastic
- Illuminated push button switches with LED and gold plated contacts
- Very wide input gain volume control by TKD's miniature rotary switch (from -70 to +4dBm)
- 3band equalizers (Hi, Mid, Lo)
- AUX outputs for many applications
- Mono output built in
- Studio monitor useful to a studio mixer
- Feed-forward limiter-compressors built in group module
- Engraved gradation for each fader to endure long term usage

BLOCK DIAGRAM



MIC,LINE MODULE

モジュールパネル説明

- 1: AUX出力調整ボリューム
AUX1~3へ送るレベルを調整します。
- 2: PRE/POST切り換えスイッチ
AUX送りの信号の取り出しのポストフェーダ、プリフェーダの選択をします。
- 3: EQ,HPF,LPF ON/OFFスイッチ
ONでそれぞれの機能が動作します。OFFで平坦特性となります。
- 4: EQボリューム
3バンドイコライザーの等化調整、外軸で周波数内軸で等化量を調整します。
- 5: リミッター回路
OFF,HARD,SOFTの切り換え、THレベルの調整、GR量表示を行います。
- 6: ファンタム電源、極性反転スイッチ
ONで48Vファンタム電源がマイクに供給されます。又入力の極性が反転します。
- 7: フェーダマイクロスイッチ、L分岐ON/OFFスイッチ
ONでフェーダマイクロスイッチが背面のコネクターに接続されます。又Lチャンネルの信号がL,R両チャンネルに送られます。
- 8: 入力レベル調整
マイクロホンや接続される機器に合わせ入力レベルを調整します。
- 9: パンポット、バランスボリューム
L,Rの信号のレベル差(定位)を調整します。
- 10: ピークインジケータ
正規レベルより24dBupで点灯し過大入力を警告します。
- 11: PFLスイッチ
フェーダ前の信号を検聴します、押した時MAINモニターがPFLに切り替わります。
- 12: グループ選択スイッチ
信号をステレオグループの1、2へ送ります。
- 13: マイクフェーダ
モノラルフェーダで信号レベルを調整します。
- 14: ラインフェーダ
ステレオフェーダで信号レベルを調整します。

- 1: AUX OUT level control
- 2: PRE,POST select switches
- 3: EQ,HPF,LPF ON/OFF switches
- 4: 3BAND EQUALIZERS
- 5: LIMITER controls
- 6: PHANTOM POWER,PHASE REVERSE ON/OFF switches
- 7: FA SW,L-BRANCH ON/OFF switches
- 8: INPUT LEVEL select knob
- 9: PANPOT and BALANCE CONTROL
- 10: PEAK INDICATOR
- 11: PFL switch
- 12: GROUP SEND switches
- 13: MONO MICROPHONE FADER
- 14: STEREO LINE FADER

GROUP,MASTER MODULE

- 15: AUX,PFLマスターボリューム
AUX1~3、PFLの出力レベルを調整するマスターボリュームです。
- 16: リミッターコンプレッサー調整ツマミ
グループのステレオリミッターコンプレッサーの圧縮比、圧縮開始レベル、リリースタイムを調整します。
- 17: GR表示
リミッターのゲインリダクション量を表示します。
- 18: リミッターコンプレッサーON/OFFスイッチ
- 19: グループON/OFFスイッチ
グループの信号をマスターバスに送ります。
- 20: グループフェーダ
ステレオフェーダでグループの信号レベルを調整します。
- 21: 試験信号発生器
試験用正弦波の周波数、レベル、送り先を選択します。
- 22: BTレベルボリューム
カフボックスを使用した時のバックトークのレベルを調整します。
- 23: L+Rマスターボリューム
L+R出力のレベルを調整します。
- 24: VU選択スイッチ
VU計で監視する信号素材を選択します。
- 25: マスターフェーダ
ステレオフェーダで本線出力レベルを調整します。

- 15: AUX MASTER level controls
- 16: LIMITER COMPRESSOR control knobs
- 17: GAIN REDUCTION indicator
- 18: LIMITER COMPRESSOR ON/OFF switch
- 19: GROUP ON/OFF switch
- 20: STEREO GROUP FADER
- 21: TEST OSCILLATOR controls
- 22: BACK TALK level control
- 23: L+R MASTER level control
- 24: VU METER SELECT switches
- 25: STEREO MASTER FADER

MONITOR MODULE

- 26: トークバックマイクコネクター
TBボリューム、トークバックを挿し音声レベルを調整します。
- 27: クレジットスイッチ
トークバックマイクの音声を本線に送ります。
- 28: スタジオモニター
スタジオモニターの素材選択と出力レベルを調整します。
- 29: メインモニター
メインモニターの素材選択と出力レベル、ヘッドホンの音量を調整します。
- 30: トークバックスイッチ
トークバックマイク音声をスタジオモニターへ送ります。

- 26: TB MIC connector and level control
- 27: CREDIT ON/OFF switch
- 28: STUDIO MONITOR select switches and level control
- 29: MAIN(HP) MONITOR select switches and level controls
- 30: TALK BACK ON/OFF switch

1. 伝送周波数範囲 30Hz~20kHz
2. 電圧増幅度特性
1kHzにて $\pm 0.5\text{dB}$
本線系統 30Hz~20kHz +0, -1.0dB
モニター系統 30Hz~15kHz +0, -1.0dB
3. 入力インピーダンス
マイク入力 信号源600Ωに適する高インピーダンス平衡回路
ライン入力 600Ω平衡回路
4. 出力インピーダンス
本線出力 600Ω負荷に適する低インピーダンス平衡回路トランス付
その他出力 600Ω負荷に適する低インピーダンス平衡回路
5. 入力レベル
マイク入力 -70(2dB STEP), -48(4dB STEP), -20, -10, 0, +4dB
ライン入力 -20, -15, -10, -5, 0, +4dB
6. 出力レベル 0dBm
7. ひずみ率
本線系統 基準レベルにて0.3%以下、22dBup時0.5%以下
モニター系統 基準レベルにて0.3%以下、15dBup時0.5%以下
8. SN比 -70dBm入力時56dB (600Ω、30kLPF)
9. 電源 AC100V $\pm 10\%$ 50/60Hz
10. 使用 連続
11. 周囲温度 0~40°C
12. 重量 約18kg

1. Frequency range
30Hz to 20kHz
2. Deviation of amplification
 $\pm 0.5\text{dB}$ at 1kHz
3. Frequency response
Program system ... from 30Hz to 20kHz +0/-1.0dB (referenced to 1kHz)
Monitor system ... from 50Hz to 15kHz +0/-1.0dB (referenced to 1kHz)
4. Input impedance
Mic. input : High impedance adaptable for source impedance of 600 ohms, balanced circuit
Line input : 600 ohm balanced circuit
5. Output impedance
Program output : Low impedance suitable for load of 600 ohms balanced circuit with the transformer
Other outputs : Low impedance suitable for load of 600 ohm balanced circuit
6. Input level
Mic : -70...(2dB steps)---48...(4dB steps)---20,-10,0 and +4dBm
Line : -20,-15,-10,-5,-0,+4dBm
7. Output level
Program : 0dBm
8. Distortion
Program : 0.3% or less at reference level, 0.5% or less at 22dB excess of reference level
Monitor : 0.3% at reference level, 0.5% or less at 15dB excess of reference level
At prefader, 0.3%, or less at 30dB excess of reference level
9. S/N ratio
56dB or more at -70dBm of input (30KHz LPF)
10. Temperature
0°C to 40°C
11. Power supply
AC 100V $\pm 10\%$, 50/60Hz
12. Dimensions and Weight
Prime-12: 518W x 569D x 160H, 18kg



DIMENSIONS

